



身体拘束の適正化について

～利用者の尊厳を守りながら進められる支援～

令和3年度の報酬改定において「障害者虐待防止の更なる推進」とともに「身体拘束等の適正化の推進」が求められました。「身体拘束等の適正化」と言っても、支援をしていく中で、利用者の安心・安全や尊厳、権利など、理想と現実の狭間で悩まれることも多いのではないのでしょうか。

今回は、日頃から利用者寄り添った支援を実践されている(福)訪問の家の小坂氏をお招きして、身体拘束の理解を深め「利用者の尊厳を守りながらの支援とはなにか」を支援者の皆さんで悩みや葛藤を共有しながら、日頃の支援について一緒に考えてみませんか。

《日時》 令和5年11月7日（火） 15:00～17:00

《場所》 障害者支援センター松が丘園 3階研修室
（相模原市中央区松が丘1-23-1）

《講師》 社会福祉法人 訪問の家 PAC
小坂 知彦 氏

《対象者》 相模原市内の障害福祉サービス事業所等従事者
障害福祉基礎研修Ⅰ・Ⅱ修了証発行事業の対象研修です。
希望者には受講履歴のカウントをします。
※ カウントには事前の登録が必要です。

《定員》 40名程度

《申込み》 申し込み締切：令和5年10月27日（金）

申込書に必要事項を記入して、Eメールでお申し込みください。

全4回コースの
第3回目です！
※単回での参加可

参加費無料

【主催】

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
相模原市基幹相談支援センター

【後援】

相模原市障害福祉事業所協会
相模原市障害者自立支援協議会

【お問合せ・お申込み】

相模原市立障害者支援センター松が丘園
基幹相談支援センター

担当：和田・菊地

メール：soudan_h1@sagamihara-shafuku.or.jp

電話：042（758）2121



いち太